



## TODグループ 所属ドクターの声

### 《所属月数》

48ヶ月

### 《現在の経験値（知識・技術面含め詳細に）》

小児、ラビアルの1-2ルケースは最初から最後まで自分でやった症例はあり。

1-2リンクルも現在終盤の症例が何症例もあり、技術に関しては以前より向上は感じているが、019x025以上のワヤーの取り扱いか他のワヤーに比べるとまた少し時間がかかる

### 《今後の課題》

難症例や、インフラ使用の症例、フレリンクル、不測の状態からのリカバリーについての知識、技術を高め、経験を積んでいく必要がある

またコンカルカの向上とそれに伴うゲット率の向上を目指す

### 《所属しての感想・実感》

まずはTODに所属して本当に良かったと思っています。

これだけスキルも融通がきいて、経験をどんどん積める環境はないと思います。

始めたばかりの頃は今のようには矯正治療が行えていたとは思えませんでした。

想像もできなかった。これもTODの環境でしか指導して

もらい、どんどん経験を積ませてもらったからだと思います。新しいシステムも柔軟にどんどん取り込んで

本当にありがとうございます

いくのが楽しいです

### 《先輩・検討中の先生へのアドバイス》

矯正を学ぶとなるとやはり大学院か思い浮かぶと思います。

ただそうすると学費や収入面などが一つのネックになると思います。

TODであれば指導環境も揃って、経験も大学以上に積むことかできます。

また初期から給与はできますし、上達して自分の出張先を持ち始めると、一般では

不可能なぐらいの収入も得ることかできます。

かなり恵まれた環境で学んでいくことができるので是非一緒に勉強しましょう

### 《教育システムへの希望・提案》

ラビアルのタイポか、終ったあとにリンクルのタイポをすることかできればよりよいと思います。(希望かあれば)

リンクルをいきなり患者でやって経験を積んでいくというのは少しハードルが高いと思うので。

タイポ実習のステップごとのチェック表があると指導しやすいかと思っています